

1 イロハのテスト

あああああ^イ「イ」の記号あああああ「ロ」の記号あああああ○付きの「ハ」あああああ^(三)たてかっこの「ニ」
あああああよこかっこの「ホ」あああああ二重線の「ハ」あああああ波線の「ト」あああああイロハの
十二番目の文字あああああ

ワ

「カ」はイロハ順で十四番目の文字で、その次の「ヨ」はイロハ順で十五番目の文字である。

傍線部イは「設問 ref」による『イ』の記号」である。

傍線部ロは「設問 ref」による『ロ』の記号」である。

傍線部⑤は「設問 ref」による○付きの『ハ』である。

傍線部(三)は「設問 ref」によるたてかっこの『ニ』である。

傍線部(ホ)は「設問 ref」によるよこかっこの『ホ』である。

傍線部へは「設問 ref」による二重線の『ハ』である。

傍線部トは「設問 ref」による波線の『ト』である。

傍線部ヲは「設問 ref」によるイロハの十二番目の文字」である。

空欄ワは「設問 ref」によるイロハの『ワ』である。

傍線部へは「イロハ ref」による二重線の『ハ』である。

空欄ワは「イロハ ref」によるイロハの『ワ』である。

2 いろいろのテスト

あああああ⁽¹⁾い⁽²⁾ろ⁽³⁾の⁽⁴⁾記号あああああ⁽⁵⁾ろ⁽⁶⁾の⁽⁷⁾記号あああああ○付きの⁽⁸⁾「は」の⁽⁹⁾記号あああああ⁽¹⁰⁾た⁽¹¹⁾て⁽¹²⁾か⁽¹³⁾つ⁽¹⁴⁾こ⁽¹⁵⁾の⁽¹⁶⁾「に」⁽¹⁷⁾あああああ⁽¹⁸⁾よ⁽¹⁹⁾こ⁽²⁰⁾か⁽²¹⁾つ⁽²²⁾こ⁽²³⁾の⁽²⁴⁾「ほ」⁽²⁵⁾あああああ⁽²⁶⁾二重線の⁽²⁷⁾「>」⁽²⁸⁾あああああ⁽²⁹⁾波線の⁽³⁰⁾「<」⁽³¹⁾あああああ⁽³²⁾いろいろの⁽³³⁾十二番目⁽³⁴⁾あああああ⁽³⁵⁾わ⁽³⁶⁾

「か」はいろいろは順で十四番目の文字である。

傍線部①は「設問 ref」による『>』の記号「>」である。

傍線部②は「設問 ref」による『<』の記号「<」である。

傍線部③は「設問 ref」による○付きの『は』の記号「は」である。

傍線部④は「設問 ref」によるたてかっこの『>』である。

傍線部⑤は「設問 ref」によるよこかっこの『<』である。

傍線部⑥は「設問 ref」による二重線の『>』である。

傍線部⑦は「設問 ref」による波線の『<』である。

傍線部⑧は「設問 ref」によるいろいろの十二番目「わ」である。

空欄⑨は「設問 ref」による『>』である。

傍線部⑩は「いろいろは ref」による二重線の『>』である。

空欄⑪は「いろいろは ref」によるいろいろの『わ』である。

3 アイウエオのテスト

あああああ^アアの記号あああああ^イイの記号あああああ○付きの「ウ」の記号あああああ^エエの「エ」あああああ^オおかっこの「オ」あああああ^カ二重線の「カ」あああああ^キ波線の「キ」あああああ^シアイウの十二番目あああああ^スス

「セ」は五十音順で十四番目の文字である。

傍線部アは「設問 ref」による『ア』の記号」である。

傍線部イは「設問 ref」による『イ』の記号」である。

傍線部⓪は「設問 ref」による○付きの『ウ』の記号」である。

傍線部(エ)は「設問 ref」によるたてかっこの『エ』である。

傍線部オは「設問 ref」によるよこかっこの『オ』である。

傍線部カは「設問 ref」による二重線の『カ』である。

傍線部キは「設問 ref」による波線の『キ』である。

傍線部シは「設問 ref」によるアイウの十二番目」である。

空欄スは「設問 ref」によるアイウの『ス』である。

傍線部カは「アイウ ref」による二重線の『カ』である。

空欄スは「アイウ ref」によるアイウの『ス』である。

4 あいうえおのテスト

あああああ「あ^あ」の記号あああああ「い^い」の記号あああああ○付きの「う」の記号あああああ^えたてかっこ
の「え」あああああよこかっこの「お」あああああ^か二重線の「か」あああああ波線の「き」あああああ
あいうの十二番目の波線あああああ^し
す

「せ」は五十音順で十四番目の文字である。

傍線部あは「設問 ref による『あ』の記号」である。

傍線部いは「設問 ref による『い』の記号」である。

傍線部㊦は「設問 ref による○付きの『う』の記号」である。

傍線部えは「設問 ref によるたてかっこの『え』」である。

傍線部(お)は「設問 ref によるよこかっこの『お』」である。

傍線部かは「設問 ref による二重線の『か』」である。

傍線部きは「設問 ref による波線の『き』」である。

傍線部しは「設問 ref によるあいうの十二番目」である。

空欄すは「設問 ref によるあいうの『す』」である。

傍線部かは「あいう ref による二重線の『か』」である。

空欄すは「あいう ref によるあいうの『す』」である。

5 漢数字のテスト 1

ああああ漢数字の「一」^(一)ああああ漢数字の「二」^(二)ああああ漢数字の「三」^(三)ああああたてかっこの「四」^(四)ああああよこかっこの「五」^(五)ああああ二重線の「六」^(六)ああああ波線の「七」^(七)ああああ漢数字の十二番目の波線^(十二)ああああ

十三

「十四」は漢数字で十四番目の文字である。

(十一)

(十一)

(十二)

ああああ○付きの「二十一」^(十一)ああああたてかっこの「二十二」^(十二)ああああよこかっこの「二十三」^(十三)

傍線部一は「漢数字設問 ref」による漢数字の『一』である。

傍線部二は「漢数字設問 ref」による漢数字の『二』である。

傍線部三は「漢数字設問 ref」による○付きの『三』である。

傍線部四は「漢数字設問 ref」によるたてかっこの『四』である。

傍線部五は「漢数字設問 ref」によるよこかっこの『五』である。

傍線部六は「漢数字設問 ref」による二重線の『六』である。

傍線部七は「漢数字設問 ref」による波線の『七』である。

傍線部十二は「漢数字設問 ref」による漢数字の十二番目である。

空欄十三は「漢数字設問 ref」による漢数字の『十三』である。

傍線部十四は「漢数字設問 ref」による○付きの『二十一』である。

傍線部二十二は「漢数字設問 ref」によるたてかっこの『二十二』である。

傍線部二十三は「漢数字設問 ref」によるよこかっこの『二十三』である。

傍線部一は「設問 ref」による漢数字の『一』である。

傍線部二は「設問 ref」による漢数字の『二』である。

傍線部三は「設問 ref」による○付きの『三』である。

傍線部四は「設問 ref」によるたてかっこの『四』である。

傍線部五は「設問 ref」によるよこかっこの『五』である。

傍線部六は「設問 ref」による二重線の『六』である。

傍線部七は「設問 ref」による漢数字の十二番目である。

空欄十は「設問 ref」による漢数字の『十三』である。

傍線部十一は「設問 ref」による○付きの『二十一』である。

傍線部十二は「設問 ref」によるたてかっこの『二十二』である。

傍線部十三は「設問 ref」によるよこかっこの『二十三』である。

傍線部十四は「設問 ref」による二重線の『六』である。

傍線部十五は「漢数字乙 ref」による漢数字の『十三』である。

空欄十三は「漢数字乙 ref」による漢数字の『十三』である。

6 漢数字のテスト1

ああああ漢数字の「一」ああああ漢数字の「二」ああああ○付きの「三」ああああたてかっこの「四」ああああよこかっこの「五」ああああ二重線の「六」ああああ波線の「七」ああああ漢数字の二番目の波線ああああ

「一四」は漢数字の一四番目の数字であり、

ああああ○付きの「二二」ああああたてかっこの「二二」ああああよこかっこの「二二」

傍線部一は「漢数字設問 ref」による漢数字の『一』である。

傍線部二は「漢数字設問 ref」による漢数字の『二』である。

傍線部三は「漢数字設問 ref」による○付きの『三』である。

傍線部四は「漢数字設問 ref」によるたてかっこの『四』である。

傍線部五は「漢数字設問 ref」によるよこかっこの『五』である。

傍線部六は「漢数字設問 ref」による二重線の『六』である。

傍線部七は「漢数字設問 ref」による波線の『七』である。

傍線部二は「漢数字設問 ref」による漢数字の二番目の波線」である。

空欄一三は「漢数字設問 ref」による漢数字の『一三』である。

傍線部一四は「漢数字設問 ref」による○付きの『二二』である。

傍線部二二は「漢数字設問 ref」によるたてかっこの『二二』である。

傍線部二三は「漢数字設問 ref」によるよこかっこの『一三三』である。

傍線部一は「設問 ref」による漢数字の『一』である。

傍線部二は「設問 ref」による漢数字の『二』である。

傍線部三は「設問 ref」による○付きの『三』である。

傍線部四は「設問 ref」によるたてかっこの『四』である。

傍線部五は「設問 ref」によるよこかっこの『五』である。

傍線部六は「設問 ref」による二重線の『六』である。

傍線部一は「設問 ref」による漢数字の二番目」である。

傍線部二は「設問 ref」による○付きの『二二』である。

傍線部三は「設問 ref」によるたてかっこの『二二』である。

傍線部四は「設問 ref」によるよこかっこの『一三三』である。

空欄一は「設問 ref」による漢数字の『一三』である。

傍線部六は「漢数字甲 ref」による二重線の『六』である。

空欄一三は「漢数字甲 ref」による漢数字の『一三』である。

7 小文字のアルファベットのテスト

あああああaアルファベットの小文字の「a」あああああbアルファベットの小文字の「b」あああああcアルファベットの小文字の「c」あああああdアルファベットの小文字の「d」あああああeアルファベットの小文字の「e」あああああfアルファベットの小文字の「f」あああああgアルファベットの小文字の「g」あああああhアルファベットの小文字の「h」あああああiアルファベットの小文字の「i」あああああjアルファベットの小文字の「j」あああああkアルファベットの小文字の「k」あああああlアルファベットの小文字の「l」あああああmアルファベットの小文字の「m」あああああnアルファベットの小文字の「n」

あああああ○付きの「a」あああああ○付きの「b」あああああ○付きの「c」あああああ○付きの「d」

あああああ○付きの「e」あああああ○付きの「f」あああああ○付きの「g」

傍線部 a は「設問 ref」によるアルファベットの小文字の『a』である。

傍線部 b は「設問 ref」によるアルファベットの小文字の『b』である。

傍線部 c は「設問 ref」による○付きの『c』である。

傍線部 d は「設問 ref」によるたてかっこの『d』である。

傍線部 e は「設問 ref」によるよこかっこの『e』である。

傍線部 f は「設問 ref」による二重線の『f』である。

傍線部 g は「設問 ref」による波線の『g』である。

傍線部 h は「設問 ref」によるアルファベットの小文字の十二番目である。

傍線部 i は「設問 ref」によるアルファベットの小文字の『i』である。

傍線部 j は「abcref」による二重線の『j』である。

空欄 m は「abcref」によるアルファベットの小文字の『m』である。

8 大文字のアルファベットのテスト

あああああアルファベットの大文字の「A」あああああアルファベットの大文字の「B」あああああ
 ○付きの「C」あああああたてかっこの「D」あああああよこかっこの「E」あああああ二重線の「F」
 あああああ波線の「G」あああああアルファベットの大文字の「二番目の波線あああああ」
 Nはアルファベットのの大文字の「四番目」である。

あああああ○付きの「a」あああああ○付きの「b」あああああ○付きの「c」あああああ○付きの「d」
 あああああ○付きの「e」あああああ○付きの「f」あああああ○付きの「g」

傍線部 A は「設問 ref」によるアルファベットの大文字の『A』である。

傍線部 B は「設問 ref」によるアルファベットの大文字の『B』である。

傍線部 C は「設問 ref」による○付きの『C』である。

傍線部 D は「設問 ref」によるたてかっこの『D』である。

傍線部 E は「設問 ref」によるよこかっこの『E』である。

傍線部 F は「設問 ref」による二重線の『F』である。

傍線部 G は「設問 ref」による波線の『G』である。

傍線部 L は「設問 ref」によるアルファベット大文字の「二番目」である。

空欄 M は「設問 ref」によるアルファベットの大文字の『M』である。

傍線部 F は「ABCref」による二重線の『F』である。

空欄 M は「ABCref」によるアルファベットの大文字の『M』である。

9 全角小文字のアルファベットのテスト

あああああ全角アルファベットの小文字の「a」あああああ全角アルファベットの小文字の「b」
「あああああ○付きの「c」あああああたてかっこの「d」あああああよこかっこの「e」あああああ
二重線の「f」あああああ波線の「g」あああああ全角アルファベットの小文字の二番目の波線あああ
あああ m

nは全角アルファベットで一四番目の文字である。

傍線部 a は「設問 ref」による全角アルファベットの小文字の『a』である。

傍線部 b は「設問 ref」による全角アルファベットの小文字の『b』である。

傍線部 c は「設問 ref」による○付きの『c』である。

傍線部 d は「設問 ref」によるたてかっこの『d』である。

傍線部 e は「設問 ref」によるよこかっこの『e』である。

傍線部 f は「設問 ref」による二重線小文字の『f』である。

傍線部 g は「設問 ref」による波線小文字の『g』である。

傍線部 l は「設問 ref」による全角アルファベット小文字の二番目「l」である。

空欄 m は「設問 ref」による全角アルファベット小文字の『m』である。

傍線部 f は「a b c ref」による二重線小文字の『f』である。

空欄 m は「a b c ref」による全角アルファベット小文字の『m』である。

10 全角大文字のアルファベットのテスト

あああああ全角アルファベットの大文字の「A」^Aあああああ全角アルファベットの大文字の「B」^B
「あああああ○付きの「C」^Cあああああたてかっこの「D」^Dあああああよこかっこの「E」^Eあああああ
二重線の「F」^Fあああああ波線の「G」^Gあああああ全角アルファベットの大文字の二番目の波線^Lああ
あああ M

Nは全角アルファベットで一四番目の文字である。

傍線部 A は「設問 ref」による全角アルファベットの大文字の『A』である。

傍線部 B は「設問 ref」による全角アルファベットの大文字の『B』である。

傍線部 © は「設問 ref」による○付きの『C』である。

傍線部 (D) は「設問 ref」によるたてかっこの『D』である。

傍線部 (E) は「設問 ref」によるよこかっこの『E』である。

傍線部 F は「設問 ref」による二重線の『F』である。

傍線部 G は「設問 ref」による波線の『G』である。

傍線部 L は「設問 ref」による全角アルファベット大文字の「二番目」である。

空欄 M は「設問 ref」による全角アルファベット大文字の『M』である。

傍線部 F は「ABC ref」による二重線の『F』である。

空欄 M は「ABC ref」による全角アルファベット大文字の『M』である。

12 丸数字のテスト

- ああああ丸数字の「1」ああああ丸数字の「2」ああああ○付きの「3」ああああたてかっこの「4」^①
 ああああよこかっこの「5」ああああ二重線の「6」ああああ波線の「7」ああああ1,2の波線^②
 ああああ
 ああああ
 傍線部①は「数字設問 ref」による数字の「1」である。
 傍線部②は「数字設問 ref」による数字の「2」である。
 傍線部③は「数字設問 ref」による○付きの「3」である。
 傍線部④は「数字設問 ref」によるたてかっこの「4」である。
 傍線部⑤は「数字設問 ref」によるよこかっこの「5」である。
 傍線部⑥は「数字設問 ref」による二重線の「6」である。
 傍線部⑦は「数字設問 ref」による波線の「7」である。
 傍線部⑧は「数字設問 ref」による空欄の「13」である。
 空欄⑨は「数字設問 ref」による空欄の「20」である。
 傍線部⑩は「設問 ref」による丸数字の「2」である。
 傍線部⑪は「設問 ref」による○付きの「3」である。
 傍線部⑫は「設問 ref」によるたてかっこの「4」である。
 傍線部⑬は「設問 ref」によるよこかっこの「5」である。
 傍線部⑭は「設問 ref」による二重線の「6」である。
 傍線部⑮は「設問 ref」による波線の「7」である。
 傍線部⑯は「設問 ref」による「12」の波線である。
 空欄⑰は「設問 ref」による空欄の「13」である。
 傍線部⑱は「丸数字 ref」による空欄の「13」である。
 傍線部⑲は「丸数字 ref」による空欄の「30」である。
 傍線部⑳は「数字 ref」による二重線の「6」である。
 空欄㉑は「数字 ref」による空欄の「13」である。
 空欄㉒は「数字 ref」による空欄の「20」である。

13 全角数字のテスト

ああああ全角数字の「1」ああああ全角数字の「2」ああああ丸囲み全角数字の「3」ああああ
あてかっこの「4」ああああよこかっこの「5」ああああ二重線の「6」ああああ波線の「7」
ああああ

下線部 1 は「設問 ref による全角数字の 1」である。

下線部 2 は「設問 ref による全角数字の 2」である。

下線部 ③ は「設問 ref による丸囲み全角数字の 3」である。

下線部 (4) は「設問 ref によるたてかっこ全角数字の 4」である。

下線部 (5) は「設問 ref によるよこかっこ全角数字の 5」である。

下線部 6 は「設問 ref による二重線の 6」である。

下線部 7 は「設問 ref による波線の 7」である。

空欄 8 は「設問 ref による空欄の 8」である。

空欄 9 は「設問 ref による空欄の 9」である。

下線部 6 は「全角数字 ref による二重線の 6」である。

空欄 8 は「全角数字 ref による空欄の 8」である。

空欄 9 は「全角数字 ref による空欄の 9」である。